



回覧

7月ふたば



令和8年6月25日 社会福祉法人こどものいえ 双葉こども園（57-2818） 岩崎 愛実

暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。乳幼児は大人より新陳代謝が活発で体温も高いですが、汗腺の発達が未熟なため体温調節がうまくできません。熱中症は室内でも起こります。子どもの顔が赤く、沢山汗をかいているときには涼しい場所に移動し、水分をこまめにとるなど、早めの対策を心がけましょう。

【保育目標】

- 夏の生活の仕方を知り、健康に過ごす
- 友だちや保育者と夏ならではの遊びを楽しむ
- 夏の暑さと健康について知り、こまめな水分補給をとり快適な生活を送る

【7月のうた】

- ・たなばたさま ・みずあそび
- ・（わらべうた）
- おふねがぎっちらこ

【7月の予定】※7～9月は汗をかく時期のため、布団持ち帰りが月2回あります。

1日（水）キッズハウスひろば（未就園児対象） 【カイロプラクターによる 発達に沿ったベビーとの触れ合い遊び】	11日（土）保護者会草刈り （4歳児・1歳児）
2日（木）身体測定（2. 1. 0歳児） ふたばおはなしひろば	13日（月）夏季言語検査（5歳児）
3日（金）身体測定（5. 4. 3歳児）	15日（水）誕生会
6日（月）親子イベント（1歳児・0歳児）	16日（木）避難訓練
7日（火）七夕会、行事食	23日（木）不審者訓練
10日（金）交通安全指導、布団持ち帰り	28日（火）ミュージック・ケア（3歳児）
	31日（金）布団持ち帰り

【8月の主な予定】

- ・13日（木）～15日（土）夏季休暇（1号認定の園児）
- ・26日（水）誕生会

今月のわらべうた 「おふねがぎっちらこ」♪

おふねがぎっちらこ ゑっちらこ ゑっちらこ
おふねがぎっちらこ ゑっちらこ ゑっちらこ
せんそうや まんそうぞ

お子さんを大人の膝にのせて、親子で手をつないで舟をこぐようにして前後に揺れます。

～ご家庭でもお子さんと遊んでみてください～

新しいお友だちを紹介します！

1歳児 わかばやし はる
若林 晴 さん
（8/1入園）

0歳児 ちょう のわ
長 埜羽 さん
（8/1入園）

よろしくおねがいします！

双葉こども園、園だより「ふたば」では、毎月の行事、歌やお知らせの他に子どもたちの今、体験している活動の様子を発信しています。今月は6月12日に行われた「うんどうかい」の様子です。お家の方の応援を受け、一人ひとりが精一杯頑張り、楽しみました。うんどうかいを経験した今、子ども達に大きな成長と自信が見られます。

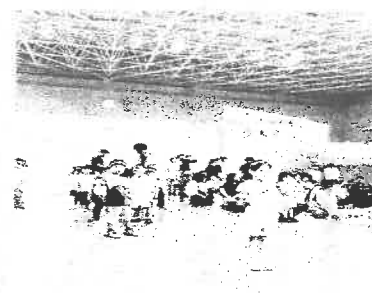
ゆい組（5歳児） みんなで団結力を深めて頑張る気持ち



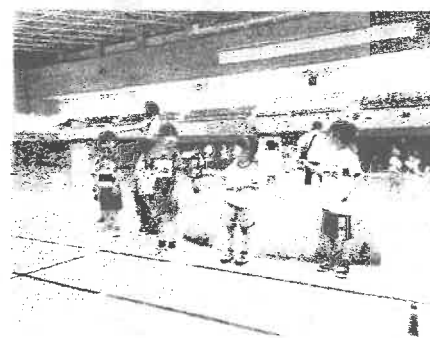
運動会練習を行うごとに、クラスやチームの団結力が深まり、子どもたち一人一人が頑張る気持ちを高めていきました。

当日は自分の担当する（プラカード・言葉・応援・体操）係に責任を持って、運動会を盛り上げていました。

様々な競技を全力で取り組む中で、子どもたちが一番印象に残った競技は「親子リレー」です。チーム一丸となって親子でバトンを繋いだ嬉しさと頑張る気持ちは、忘れられないものとなりました。



ひまわり組（4歳児） 頑張る姿を見ていてね！



赤チーム、青チームに分かれ初めてのリレーに挑戦しチームの友だちと心をひとつにして力を合わせる大切さや、最後までやり遂げた達成感を味わっていた子どもたち。保護者の方々の拍手や応援の中「見ててね！」と、自分の力を出し切ることができ満足そうな表情が見られました。

ばら組（3歳児）「こんなこともできるんだよ！」 自信がたくさんついた運動会



「あと何回寝たら運動会？」と何度も尋ねるほど楽しみにしていた子どもたち。かけっこは何度も繰り返して遊ぶうちに自信がついていき、当日は大好きなお父さんとお母さんが待つ元へ、全員がゴールすることができました。運動会を通して一回りも二回りも成長していました。

すみれ組（2歳児）初めての運動会！ドキドキワクワク！

子ども達にとっては初めての運動会！広い会場、大勢の観客を前に緊張と運動会への期待感でいっぱい表情が見られましたが、日頃の活動、遊びがそのまま競技になっていることもあり、始まると自然と笑顔になり保育者のもとを離れ駆け出す子ども達でした。頑張りましたね！



親子競技

4月の月刊絵本から
『金魚が逃げた』



かけっこ

ゴールで待つお家の方に向かってよいドン！

園長コラム：愛着 — 子どもの「心の呼吸」を守るもの —

令和8年6月25日

令和8年度が始まり早くも3カ月が過ぎようとしています。6/12に運動会を経験した子どもたちは一回り成長した姿が見られます。子どもたちが挑戦し、成長していくために、私が最も大切だと考えていることをお伝えしたいと思います。

■人間が人間として幸せに生きるために

乳幼児期の子にとつて、**愛着**（アタッチメント）とは「心の呼吸」のようなものです。人は、自分を大切に思い、しっかり見つめてくれる人がたつた一人でもいねば生きていけます。逆にその存在がなければ、体は元氣に見えても、心は息をしていない状態になってしまいます。これは子どもだけでなく、私たち大人にも当てはまります。
人間として心満たされ、幸せに生きるために不可欠な土台、それが「愛着」です。

そして子どもにとって、その“たつた一人”とは、ほとんどの場合、「お父さんやお母さん」です。
子どもが「“本当に愛されたい人”に愛されている」と実感できたとき、心は安心して満たされ、のびのびと育っていきます。

■愛着が満たされると、子どもはどう育つのか

●愛着とは

心理学者ジョン・ボウルビイは、愛着を「特定の人との情緒的な結びつき」と定義しました。

その結びつきは、子どもが不安や危険を感じたときに戻る「安全基地」となります。安心してできる場所があるからこそ、子どもは外の世界へ冒険に出かけ、挑戦し、失敗し、また戻ってくるができます。

つまり、安心して離れ、安心して戻る関係 これこそが愛着の本質です

安定した愛着を持つ子どもは次のような特徴を示すことがわかっています。

- ・ 自分に自信が持てるようになる
- ・ 人を信じやすくなる
- ・ 新しいことにワクワクして挑戦できる
- ・ 気持ちが乱れても落ち着きやすくなる
- ・ つまずいても、また立ち上がる力が育つ



これは「自分は大切にされている」という確かな感覚が、心の中に太い根っこを育てるからです。

■たくさん活動よりも、もっとずっと大切なもの

双葉こども園では、戸外遊び、絵本、運動、五感を使った遊びなど、子どもの成長にとって大切な活動をたくさん取り入れています。幼児教育にも力を入れています。でも、どんな素晴らしい活動にしても、愛着という土台がなければ、子どもは十分に育ちません。

- ・ どんなに素晴らしい絵本でも
- ・ どんなに高度な運動遊びでも
- ・ どんなに豊かな環境でも

「**自分を見てくれる人がいる**」という**安心基地**がなければ**成長できません。**

安心基地をみつけられない子どもは
(*思ってもええおかし)*やる**気がない**！ (*思ってもええおかし)*話を**きかぬ**！、攻撃的、情緒的にあることがあります。

子どもが挑戦し、失敗し、また挑戦できるのは、「いつでも受け止めてくれる人がいる」という確信があるからです。

私たち、保育教諭はいつも子どもたちの気持ちを受け止めるべく、接しています。でも、私たちはお父さん、お母さんにはどうしたってか
ないません。だって子どもたちが1番見てほしい人は他でもない、お父さん・お母さんなのですから。

■いちばん簡単に伝わる愛着の深めかた

子育ては、毎日が忙しく、余裕がない日もあります。

「どう関わればいいのかわからない」

「何をしてあげればいいのかわからない」 そんな日も当然あります。

そんなときは、どうか難しく考えないでください。

ただただ、お子さんを抱きしめてあげてください。 心の中で「**あなたは私の大切な子だよ**」と思いながら。

それだけで、子どもの心は深く満たされます。言葉がなくても、完璧でなくても、親の温もりは子どもの心にまっすぐ届きます。さらに言葉にできるのであれば、お子さんに伝えてください。お子さんの心は満たされ、明日への成長につながります。お子さんから求めてきてくれることはありませんか？「抱っこして」と。

■最後に

子どもは、愛されている実感を糧に育ちます。その力は、人生のどんな困難にも折れない「心の根っこ」になります。双葉こども園は、保護者の皆さまと一緒に、子どもたちの心の呼吸を守り、安心の土台を育てていきたいと思っています。

